

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
データベースⅡ Databases II		情報メディア学科	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	林 孝哉	
概要				
データベースとは、大量の情報を効率よく管理し、データの検索・入力・更新・削除などを行うための技術である。代表的なリレーショナルデータベース処理について学習する。データベース問合せ言語（SQL）の利用方法について解説する。				
到達目標				
(1) データベース関連用語について説明できる。 (2) 基本的な問い合わせが SQL 文により記述できる。 (3) グループ化が SQL 文により記述できる。 (4) 表結合が SQL 文により記述できる。 (5) 副問い合わせが SQL 文により記述できる。				
授業内容とすすめ方				
1 リレーショナルデータベースとは 2 SQL の基本 (1) : SQL 文、問い合わせの基本 3 SQL の基本 (2) : 条件を指定した問い合わせ 4 SQL の基本 (3) : 並べ替え 5 SQL の基本 (4) : 集計関数を用いた問い合わせ 6 SQL 基本の練習 7 グループ化 (1) : グループ化の基本 8 グループ化 (2) : グループ化と条件指定 9 グループ化の練習 10 表の結合 (1) : 結合の基本 11 表の結合 (2) : 結合とグループ化 12 表結合の練習 13 副問い合わせ (1) : 副問い合わせの基本 14 副問い合わせ (2) スカラサブクエリー 15 副問い合わせの練習				
テキストおよび 参考文献	テキスト：なし（適宜プリント配布）			
メッセージ など	データベースの概念や設計については「データベースⅠ」で学ぶので、2年次前期の「データベースⅠ」を受講しておくことが望ましい。			

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) データベース関連用語について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いが無く、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	20%
(2) 基本的な問い合わせがSQL文により記述できる。	ほぼ完璧に基本的な問い合わせがSQL文により記述できる。	大きな間違いが無く、問い合わせの基本をSQL文により記述できる。	間違いはいくつかあるが、問い合わせの最低限のSQL文が記述できる。	基本的な問い合わせがSQL文により記述できていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力)	25%
(3) グループ化がSQL文により記述できる。	ほぼ完璧にグループ化がSQL文により記述できる。	大きな間違いが無く、グループ化の基本がSQL文により記述できる。	間違いはいくつかあるが、グループ化の最低限のSQL文が記述できる。	グループ化がSQL文により記述できていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力)	20%
(4) 表結合がSQL文により記述できる。	ほぼ完璧に表結合がSQL文により記述できる。	大きな間違いが無く、表結合の基本がSQL文により記述できる。	間違いはいくつかあるが、表結合の最低限のSQL文が記述できる。	表結合がSQL文により記述できていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力)	20%
(5) 副問い合わせがSQL文により記述できる。	ほぼ完璧に副問い合わせがSQL文により記述できる。	大きな間違いが無く、副問い合わせの基本がSQL文により記述できる。	間違いはいくつかあるが、副問い合わせの最低限のSQL文が記述できる。	副問い合わせがSQL文により記述できていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力)	15%